

1. 科目名 (単位数)	金融論 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP2135						
2. 授業担当教員	松尾 仁								
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、グループワーク	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	経済学および経営学関連科目を履修していることが望ましい。								
7. 講義概要	<p>金融論の場合は、入門であっても、講師によって扱う内容が様々に異なっている。それだけ金融という現象が幅広い経済分野にまたがっているからである。本講義は、金融論の基礎について体系的・包括的に全体像を学ぶだけでなく、そうした知識・理論を用いて、基礎的な個人の金融行動選択の方法を学ぶことに特徴がある。予備知識が少ない学生でも理解できるようになるべく平易に解説する。</p> <p>前半では、金融論の基礎知識・理論として、金融の役割、金融の方法、金融取引を行う場である金融市場、貨幣、金融機関、金融政策を解説する。後半は、個々の経済主体の意思決定に必要な基礎知識として、お金を融通することの対価である利子率、家計や企業等の金融行動に関する基本的な理論や方法を解説する。</p> <p>講義の進行方法については、受講者の理解を深めるため項目ごとに問題演習を行う。また課題として提出するレポートをもとに、グループディスカッションを行い、理解を深める。</p>								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の金融経済の現状を把握し、説明できるようになる。</li> <li>2. 金融の基礎理論を理解し、説明できるようになる。</li> <li>3. 預金や株式、社債などの金融商品の取引や、その結果である利益と損失の発生を理解し、説明できるようになる。</li> <li>4. 家計や個人の金融行動の選択に関する考え方と方法を習得し、日常生活で実践できるようになる。</li> <li>5. 金融の理論や方法を企業や社会福祉関連施設等の運営・管理において応用できるようになる。</li> </ol>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業内容と関連したレポートを課す。								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>日本経済新聞社編『金融入門 (第3版)』日本経済新聞出版社、2020年。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストの輪読を通じて、金融論の基礎知識が理解できているか。</li> <li>2. (中間) レポート課題に対して的確に検討し、説明できるようになっているか。</li> <li>3. 期末試験 (又はレポート) を通じて、専門用語等を理解し、説明できるようになっているか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の10%</td> </tr> <tr> <td>2. (中間) レポート</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験 (又はレポート)</td> <td>総合点の60%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極的参加	総合点の10%	2. (中間) レポート	総合点の30%	3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の60%
1. 授業への積極的参加	総合点の10%								
2. (中間) レポート	総合点の30%								
3. 期末試験 (又はレポート)	総合点の60%								
12. 受講生へのメッセージ	主体的に授業に参加し、金融の基礎的な理論と現状を学び、われわれの生活と金融のさまざまな問題について漠然とではなく論理的に考える力を身につけるよう心掛けていただきたい。								
13. オフィスアワー	授業内で周知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション/金融の役割	事前学習	テキスト pp. 14~25 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第2回	金利	事前学習	テキスト pp. 25~36 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第3回	間接金融	事前学習	テキスト pp. 38~69 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第4回	直接金融	事前学習	テキスト pp. 69~79 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第5回	短期金融市場	事前学習	テキスト pp. 82~92 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第6回	債権市場、株式市場	事前学習	テキスト pp. 92~104 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第7回	外国為替市場	事前学習	テキスト pp. 104~114 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第8回	中央銀行	事前学習	テキスト pp. 130~135, pp. 160~171 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第9回	金融政策	事前学習	テキスト pp. 135~159 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第10回	金融庁	事前学習	テキスト pp. 171~181 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第11回	金融危機	事前学習	テキスト pp. 184~201 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						
第12回	国際通貨制度 (1) 固定相場制から変動相場制へ	事前学習	テキスト pp. 202~206 を読んでくる。						
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。						

第13回	国際通貨制度 (2) ユーロ、円の国際化など	事前学習	テキスト pp. 206～221 を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第14回	金融の行方	事前学習	テキスト pp. 224～235 を読んでくる。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
第15回	総括	事前学習	これまでの授業内容を整理しておく。
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。
期末試験			